

授業科目

アスレティックリハビリテーション実習

担当教員名 柵木 聖也、熊崎 昌	対象学年	4	対象学科	スポ
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

授業の概要

基本的なトレーニング理論と機能解剖学を背景とし、部位別の個々のスポーツ傷害に対するアスレティックリハビリテーションの進め方について紹介する。

授業の目的

基本的なトレーニング理論と機能解剖学に対する理解を基盤として、部位別の個々のスポーツ傷害に特化したアスレティックリハビリテーション実施方法を学ぶ。

学習目標

1. 上肢のスポーツ傷害とアスレティックリハビリテーションについて学ぶ。
2. 体幹のスポーツ傷害とアスレティックリハビリテーションについて学ぶ。
3. 下肢のスポーツ傷害とアスレティックリハビリテーションについて学ぶ。
4. アスレティックリハビリテーションの中で用いられる体カトレーニング的な手法について学ぶ。
5. 各種のスポーツ傷害を受傷した選手に対する一連のアスレティックリハビリテーションをシミュレーションする。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	上肢のスポーツ傷害とアスレティックリハビリテーション (1) 肩関節前方脱臼	実習	柵木 聖也 他
2	上肢のスポーツ傷害とアスレティックリハビリテーション (2) 投球傷害肩	実習	柵木 聖也 他
3	上肢のスポーツ傷害とアスレティックリハビリテーション (3) 肘MCL損傷、上腕骨内外側上顆炎	実習	柵木 聖也 他
4	体幹のスポーツ傷害とアスレティックリハビリテーション (1) 頸椎捻挫	実習	柵木 聖也 他
5	体幹のスポーツ傷害とアスレティックリハビリテーション (2) 腰部疾患	実習	柵木 聖也 他
6	下肢のスポーツ傷害とアスレティックリハビリテーション (1) 足関節捻挫	実習	柵木 聖也 他
7	下肢のスポーツ傷害とアスレティックリハビリテーション (2) 膝MCL・ACL・MM・LM損傷	実習	柵木 聖也 他
8	下肢のスポーツ傷害とアスレティックリハビリテーション (3) 大腿伸筋・屈筋群の肉離れ	実習	柵木 聖也 他
9	下肢のスポーツ傷害とアスレティックリハビリテーション (4) 鷲足炎、膝蓋大腿関節障害、タナ障害等	実習	柵木 聖也 他
10	下肢のスポーツ傷害とアスレティックリハビリテーション (5) 扁平足障害、脛骨過労性骨障害	実習	柵木 聖也 他
11	アスレティックリハビリテーションのケーススタディ	実習	柵木 聖也 他
12	アスレティックリハビリテーションのシミュレーション1	実習	柵木 聖也 他
13	アスレティックリハビリテーションのシミュレーション2	実習	柵木 聖也 他
14	アスレティックリハビリテーションのシミュレーション3	実習	柵木 聖也 他
15	まとめ	実習	柵木 聖也

			他
--	--	--	---

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	公認アスレティックトレーナー 専門科目テキスト 1～9	(財)日本体育協会	(財)日本体育協会			
参考書						
その他の資料						

評価方法

全出席を前提とし、筆記試験を実施する。

履修上の留意点

基本的には、日体協公認AT資格取得希望者向けの開講科目である。

オフィスアワー・連絡先

オフィスアワー：毎週木曜日の18:00～19:00

連絡先：masegi@nuhw.ac.jp